

2011年5月13日

2011年3月期(第11期) 決算短信補足資料  
(2010年4月1日～2011年3月31日)



株式会社アイフリーク

人々の想いが伝わる・繋がる・広がる  
Entertainment・Convenience・Benefit  
新たなコミュニケーション文化の創造

I\*FREEK

## はじめに

2011年3月11日に発生いたしました東日本大震災により被災された皆様、

ご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに

被災地の1日でも早い復興を心よりお祈りいたします。

当社としましては、義援金を始め、復興支援活動を行ってまいります。

また、当社は企業としての責務を果たすことが社会貢献となり

復興に繋がると信じております。

コミュニケーションプロバイダーである当社の役割をしっかりと果たし、

全社一丸となって日本を元気に出来るようなサービスを生み出してまいります。

今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

# 目次

Section1	2011年3月期の業績	.....	5~7
Section2	2012年3月期見通し	.....	9~11

Section.1

---

2011年3月期の業績

# 1-1 2011年3月期 損益状況

## ■モバイルコンテンツ市場の変化に対応しながら着実な事業展開

損益計算書		単位:百万円
	当期 (自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日)	前期 (自 2009年4月 1日 至 2010年3月31日)
売上高	2,860	2,473
売上原価	1,444	916
売上総利益	1,415	1,556
販売管理費	1,109	1,435
営業利益	306	121
経常利益	322	134
当期純利益	151	75

### <業績回復の要因>

- ・前期の経営統合効果
- ・広告投資効果の検証
- ・業務効率の向上

利益率の大幅改善に  
成功

※Eコマース事業の一層の財務基盤強化を図るため、旧株式会社日本インターシステム買収によるのれん等の減損(94百万円)を実施

# 1-2 2011年3月期 財政状況

## 貸借対照表

単位:百万円

	当期 2011年3月31日	前期 2010年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,518	1,221
固定資産	454	527
有形固定資産	61	61
無形固定資産	144	243
投資その他資産	249	222
資産合計	1,972	1,748
<b>負債の部</b>		
流動負債	430	315
固定負債	141	166
負債合計	572	481
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	459	458
資本剰余金	449	448
利益剰余金	527	396
自己株式	△46	△46
株主資本合計	1,389	1,257
評価・換算差額等	△1	△1
新株予約権	12	10
純資産合計	1,400	1,267
負債純資産合計	1,972	1,748

## ■健全な財務状況を維持

### 「利益剰余金」

3億96百万円→**5億27百万円**

### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

1億64百万円→**4億81百万円**

## キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当期 (自 2010年4月 1日 至 2011年3月 31日)	前期(参考資料) (自 2009年4月 1日 至 2010年3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	481	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24	43
現金及び現金同等物の増減額	365	△73
現金及び現金同等物の期首残高	358	432
現金及び現金同等物の期末残高	723	358

## 1-3 配当実績及び予想

### 配当の実施(記念配当及び普通配当)

#### <配当の理由>

- ・株主の皆様への安定した利益還元

#### <配当の内容>

- ・記念配当金: 1,000円(2010年9月30日基準日)
  - ・普通配当金: 300円(2011年3月31日基準日)※注
- ※注 平成23年2月9日を効力発生日とする分割前の配当額は、実質1,200円となります。よって、年間合計配当額は2,200円相当と換算されます。

#### <配当性向>

- ・2010年3月期:0% → 2011年3月期: 31.6%

#### <今後の配当方針について>

- ・事業の効率化及び拡大に必要な内部留保の充実を勘案しながら、その時々の方社の経営成績及び財政状態並びにそれらの見通しに応じた適切な利益還元策の実施を検討いたします。

Section.2

---

2012年3月期見通し



## 2-1 2012年3月期業績数値予想

### 通期最重点課題

『新たなる市場へ積極的に投資してまいります』

- ・急成長しているスマートフォン市場での収益基盤の構築
- ・コンテンツプロバイダーからプラットフォームビジネスへの転換
- ・世界規模でのモバイルマーケットへの進出

### 通期業績予想

単位:百万円

	2012年3月期予想 〔自 2011年4月 1日〕 〔至 2012年3月31日〕	2011年3月期実績 〔自 2010年4月 1日〕 〔至 2011年3月31日〕	対前年比
売上高	2,854	2,860	△0.2%
営業利益	122	306	△60.2%
経常利益	131	322	△59.4%
当期純利益	69	151	△54.6%

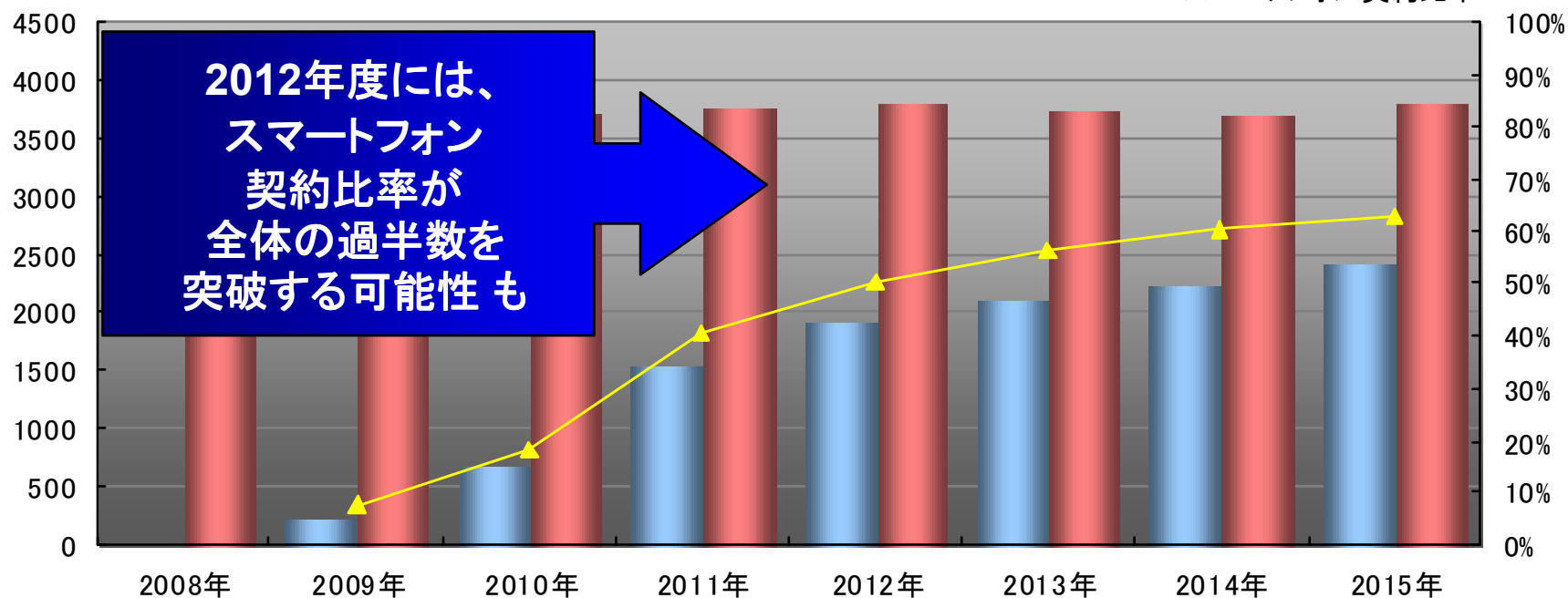
## 2-2 市場データ スマートフォン(ご参考)

### ■携帯電話出荷台数も、劇的な速さでスマートフォンに移行

- ・スマートフォンは、2009年度まで全携帯電話出荷台数の10%程度であったが、2010年度は急激に契約者数が増加。今後も急激な成長が見込まれる。

#### <携帯電話国内出荷状況推移>

単位:万台



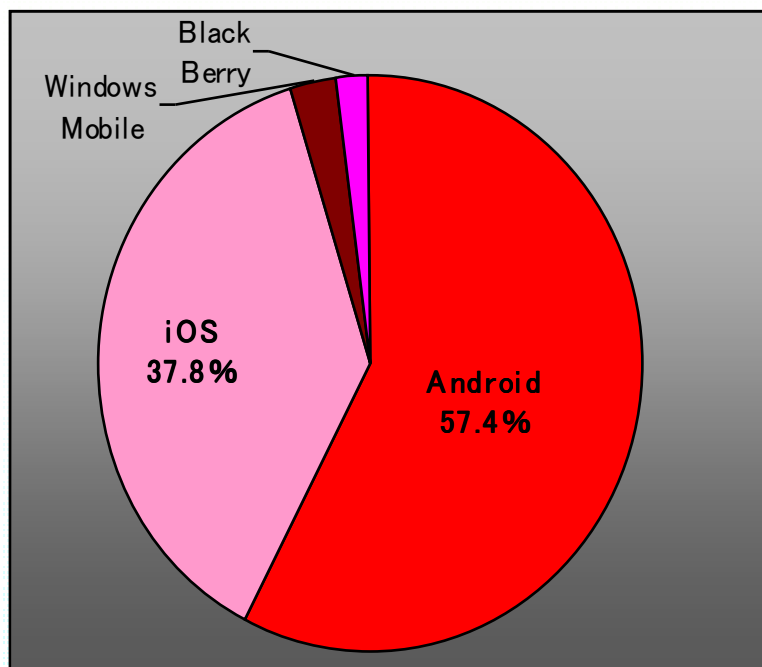
※当社調べ

## 2-3 市場データ スマートフォン(ご参考)

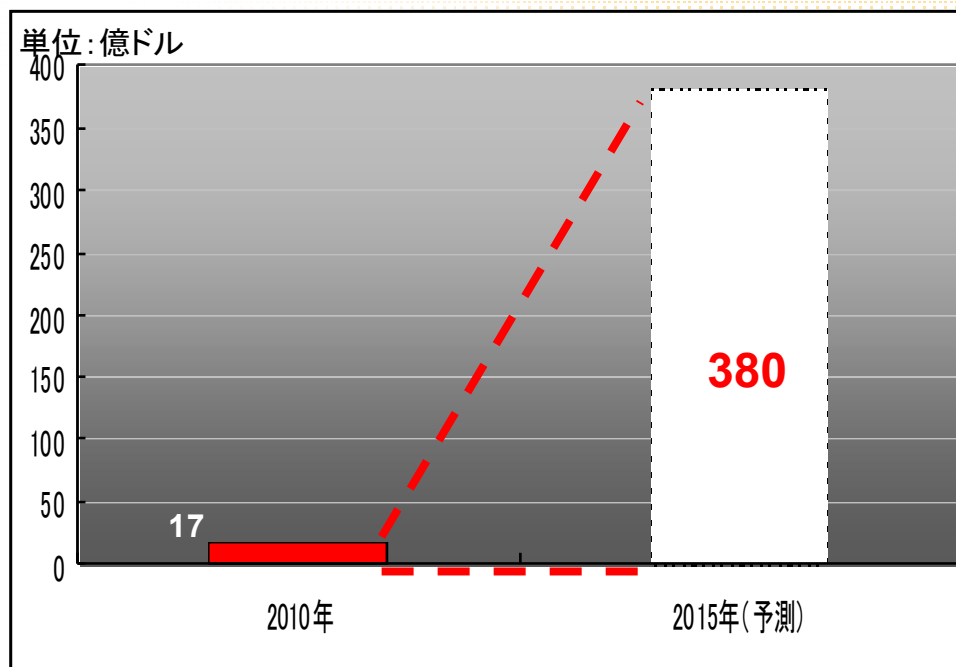
### ■OS別出荷台数は、Androidが他シェアを抜き首位

- ・世界の端末向けアプリ市場規模については、2015年に**380億ドル規模**となる予測も立っている。

<スマートフォンのOS別出荷台数  
(2010年通期・国内)>



<端末向けアプリ市場規模(世界)>



※当社調べ

## お問い合わせ先

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アイフリーク 東京支店 経営企画ユニット IR担当

TEL:03-5457-7516 FAX:03-5457-7510

※メールでのお問い合わせは弊社コーポレートサイトの問い合わせフォーム  
(<http://www.i-freek.co.jp/inquiry/>)よりご連絡下さい。

※本資料に関するお問い合わせは本社(福岡)ではお受けしておりません。

あらかじめご了承下さい。

※本資料に記載の事項は発表日時点での最新情報となります。

※各社の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

**(注意)** ※本資料をご覧頂いた皆様は必ずご一読下さい。

本資料は株式会社アイフリーク、ならびにグループ各社の事業展開を関係各位向けに説明する補足資料であり、株式購入の勧誘を目的とした書類ではありません。

株式会社アイフリークの株式売買については、本資料と別に公開される適時開示情報(IR情報)をご確認の上、ご自身の判断において投資行為を行われますよう、お願いいたします。

また、本資料に依拠して投資行為を行った場合の結果について、株式会社アイフリークは一切保証するものではありませんので、あらかじめご了承下さい。